



歯科医師・研究者チームによる

歯周治療のコンセンサス 4 インプラント周囲疾患

CONTENTS

PART 1 インプラント周囲疾患の病態・治療アウトライン (吉江弘正)

PART 2 インプラント周囲疾患 コンセンサス レポート
(石川知弘、和泉雄一、井上孝、浦野智、大月基弘、小方頼昌、五味一博、須田剛義、鳥潟隆睦、二階堂雅彦、萩原芳幸、畑めぐみ、水上哲也、吉江弘正、和田圭祐)

PART 3 インプラント周囲疾患 エビデンスと臨床

Chapter 1 インプラントと周囲炎の病態学
—天然歯と歯周病との比較— (井上孝)

Chapter 2 インプラント周囲炎と歯周炎は同じか？
(和泉雄一、駒津匡二、小柳達郎、竹内康雄、芝多佳彦)

Chapter 3 インプラント周囲炎の予防と外科的対応 (石川知弘)

Chapter 4 インプラント周囲炎に対する欧州の動向と治療法についての提言 (大月基弘)

Chapter 5 Er:YAG レーザーを用いたインプラント周囲炎における再生療法 (鳥潟隆睦)

Chapter 6 補綴的観点から検討するインプラント周囲疾患の予防と治療 (須田剛義)

大学歯学部・歯科大学および歯科開業医から
歯周病の各分野でリードしている十数名の歯科医療従事者が参加！



【世話人】
吉江弘正
二階堂雅彦
畑めぐみ

【コメンテーター】
石川知弘
和泉雄一
井上孝
浦野智
大月基弘
小方頼昌
五味一博
須田剛義
鳥潟隆睦
萩原芳幸
水上哲也
和田圭祐

ついにシリーズ完結！！

歯科医師・研究者チームによる 歯周治療のコンセンサス

【世話人】 吉江弘正・二階堂雅彦・畑めぐみ

近年、歯周治療に関する検査・材料・薬剤・機器の進化は著しく、新しい手法も多数開発され、歯周治療の技術革新が進展しています。一方、多くの研究論文と臨床歯科医師による情報が錯綜する中で、現時点における正しくかつ新しい統一見解(コンセンサス)が求められています。

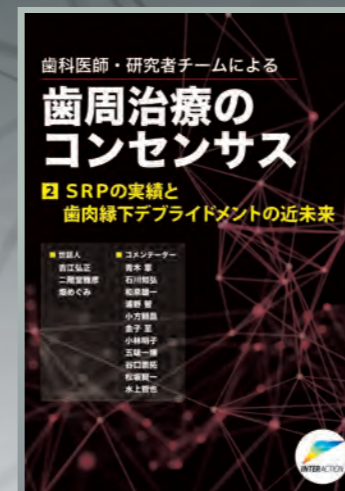
このような現状の中で、大学歯学部・歯科大学および歯科開業医から、歯周病の各分野でリードしている十数名の歯科医師、研究者や歯科衛生士が集まり、歯周治療における各種テーマについてディスカッションするミーティングを企画しました。

本書では、そのミーティングでの議論を踏まえ、臨床論文・症例報告・臨床経験のバランスを配慮しながら、発表した内容および臨床質問に対するコンセンサスレポートを、わかりやすい文章表現と図表を存分に活用してまとめました。本書が、医療機関で活躍している臨床歯科医師・歯科衛生士ならびに歯科教育・研究機関に携わっている先生方にとって有益な情報となりますことを願っております。

NEW



A4判 64ページ
ISBN 978-4-909066-25-1 C3047
定価 3,300円(税込)



A4判 92ページ
ISBN 978-4-909066-30-5 C3047
定価 3,960円(税込)



A4判 128ページ
ISBN 978-4-909066-39-8 C3047
定価 4,950円(税込)



A4判 136ページ
ISBN 978-4-909066-41-1 C3047
定価 5,280円(税込)

注文票

品名	定価 (税込)	冊数
歯科医師・研究者チームによる 歯周治療のコンセンサス 4 インプラント周囲疾患	5,280円	
3 歯周再生治療	4,950円	
2 SRPの実績と 歯肉線下デブリドメントの近未来	3,960円	
1 歯周炎の新分類 (2017)	3,300円	



インターアクション株式会社
東京都武蔵野市境南町 2-13-1-202
TEL 070-6563-4151 FAX 042-290-2927
http://interaction.jp

1

歯周炎の新分類(2017)

話題の【歯周病の新分類】をどう臨床に落とし込むか？ その解釈と活用法がわかる！

【世話人】

吉江弘正 二階堂雅彦
畑めぐみ

【コメンテーター】

石川知弘 石原和幸
和泉雄一 浦野 智
小方頼昌 菅野文雄
五味一博 清水宏康
多部田康一 築山鉄平
富岡栄二 水上哲也
三辺正人

本書は、2019年7月27日に実施した『第1回 歯周治療のコンセンサス ミーティング』をまとめたものです。このコンセンサス ミーティングは、2017年のワールドワークショップで報告された「歯周とインプラント周囲疾患・病態の新分類」のうち歯周炎の分類に焦点をあて、歯周炎の病因と実態に沿った検査・治療との関連を基盤にして行われました。

詳細はこちら



歯科医師・研究者チームによる

歯周治療のコンセンサス

SRPの実績と 歯肉縁下デブライドメントの近未来

歯肉縁下デブライドメントに進化したSRPを多面的に評価・考察した価値ある一冊

歯周基本治療の主体をなすSRP（スケーリング・ルートプレーニング）は、歴史も古く、十分な研究と臨床実績があり、国内における普及は目を見張るものがあります。しかしながら近年の知識の集積ならびに病因論の変化により、「歯肉縁下デブライドメント」と称したほうがより適切と考えられるようになりました。さらに歯肉縁下デブライドメントの臨床効果をより大きくするため、さまざまな手法が開発され進化しつつあります。本コンセンサス ミーティングは、これらのことに焦点をあてることで改めてSRPを見直し、再評価・再考察を試みることを目的として行われました。

詳細はこちら



【世話人】

吉江弘正 二階堂雅彦
畑めぐみ

【コメンテーター】

青木 章 石川知弘
和泉雄一 浦野 智
小方頼昌 金子 至
小林明子 五味一博
谷口崇拓 松坂賢一
水上哲也

3

歯周再生治療

最新のデータや症例を交えながら歯周再生治療を再確認・考察した待望の一冊

【世話人】

吉江弘正 二階堂雅彦
畑めぐみ

【コメンテーター】

石川知弘 和泉雄一
岩田隆紀 浦野 智
小方頼昌 片山明彦
川瀬知之 五味一博
齋藤 淳 白方良典
根本康子 水上哲也

歯周再生治療は、骨移植やGTR法、エムドゲイン®・リグロス®などの生理活性物質の応用と進化を遂げてきました。さらに歯根膜や骨膜などの移植細胞を利用した細胞治療へと突入し、まさしく材料・薬剤の使い分け／組合せの時代であります。しかしながら、歯周組織再生のためには、患者／部位の選択・手術技術・術後管理が基盤として重要で、術式としては欠損部の形状把握・フラップデザイン・根面のクリーン・創面被覆がポイントとなります。このように組織再生を達成するためには総合的観点が必要であり、最新のデータや症例を交えながら再確認・考察しました。

詳細はこちら



インプラント周囲疾患

インプラント周囲疾患へのグローバルスタンダードな対応法がわかる一冊

インプラント周囲疾患は、まさしく近代文明が作り出した新しい病気です。有史より存在し、約100年の間に科学的治療法が確立された歯周疾患に比較して、インプラント周囲疾患は原因・リスク因子も複雑で、病態もより多様性があり、治療のコンセンサスを得ることはかなり難しいといえます。そこで本コンセンサス ミーティングでは、すでにこの疾患で困っている患者がいる現状に鑑みて、現段階において可能な範囲での一致した見解をまとめました。

詳細はこちら



【世話人】

吉江弘正 二階堂雅彦
畑めぐみ

【コメンテーター】

石川知弘 和泉雄一
井上 孝 浦野 智
大月基弘 小方頼昌
五味一博 須田剛義
鳥潟隆睦 萩原芳幸
水上哲也 和田圭祐

2

4